

日本気象学会関西支部 第28期第9回常任理事会議事録

日 時：2010年3月17日（金） 15時00分～16時40分

場 所：大阪合同庁舎第4号館 大阪管区气象台

出席者：瀬上、塩谷、向川、大澤、藤井、松本、諸岡（以上7名は常任理事）、
西、高橋、永山（以上3名は幹事）

議 事

1 2009年度各地区例会報告

2009年度の第1回例会（四国地区）が、2009年12月11日（金）に香川大学にて開催された。発表題数は7題、参加者は47名であった。第2回例会（中国地区）が、2009年12月19日（土）に岡山大学教育学部にて開催された。発表題数は18題、参加者は48名であった。第3回例会（近畿地区）が、2010年2月23日（火）に神戸大学深江キャンパスにて開催された。発表題数は10題、参加者は32名であった。

第1回例会と第3回例会は平日開催であるためか、参加人数が少なかったようである。第2回例会は、岡山大学で12/20に開催された公開講演会と合わせた企画などにより発表題数が増えたようである。

例会の詳細は、支部ニュース263号（3月下旬発行予定）に掲載予定である。

2 第29期役員選挙

関西支部役員の任期は2年である。第28期関西支部の理事及び会計監査の役員は、本年度をもって任期が終了する。第29期役員（理事及び会計監査）選任のために、事務局から2/26に長澤芳美会員と林麻里子会員の両名に選挙管理委員を依頼した。選挙される役員は、常任理事7名、地区理事6名（近畿・中国・四国各2名）、会計監査1名である。立候補の届出期間は、2010年4月5日（月）から2010年4月16日（金）までの予定である。選挙の告示は、支部ニュース263号に掲載予定である。

3 2010年度日本気象学会秋季大会

秋季大会が、2010年10月27日（水）～29日（金）の期間で、京都市の京都テルサを会場として開催される。実行委員会は、4月に立ち上げる。当面は関西支部常任理事会の参加会員中心の体制でこなし、調整と検討が進んだ段階となる、今年の夏くらいに実行委員会の人数を増員させる。

任務分担として、実行委員長は支部長、副実行委員長は大学からの理事とし、実行委員会事務局長は諸岡があたる。その他、事務局、シンポジウム担当、会計担当のそれぞれの大枠を検討した。

シンポジウムは、主題を「大気圏のさまざまな境界面での相互作用」とする。5名の講演者を招き、コーディネイターを交えてのシンポジウムとする。

大会の交付金について、250万円から300万円への増額を申請し、本部から承認があった。また、シンポジウム冊子への広告掲載として賛助金の募集要項を検討した。

4 2010年度関西支部の理事会・総会・年会

2010年06月26日（土）11時頃～17時に、天満橋ドーンセンター5階視聴覚スタジオにて理事会・総会・年会を行う。スケジュールは、おおむね昨年度の線を進める。総会・年会のお知らせを、天気4月号および支部ニュース263号に掲載予定である。

5 過去文献の電子化

夏季大学テキストの1～31回と、今年度の年会例会要旨集の電子化作業を業者発注した。

過去の夏季大学テキストの、第7回（1985）・第9回（1987）・第10回（1988）・第11回（1989）の4冊分は見当たらず欠番である。支部ニュースや関西支部HPを通じた欠番テキストの検索を検討する。

事務局で2010年1月に3年以上経過の過去文献冊子を大幅に処分した。今後は、電子化した過去文献のファイルをインターネット上に公開する計画である。

6 夏季大学

常任理事会に先立って夏季大学実行委員会を開催した。以下の実行委員会の検討内容が報告された。

第32回夏季大学を8/28（土）に京都キャンパスプラザで開講する。題目予定は台風に関連することとし、基礎的講座/最新の台風予報/温暖化の中での台風、以上の3つの講座の内容予定である。4月早々くらいまでに早めに講師を押さえる。支部の総会開催に合わせて募集開始ができるようにする。